

コース名		科目名					対象学年
臨床医学		データ分析に基づく研究講義 (EBM・データサイエンスシリーズ)					3
開講学期		科目責任者			副責任者		
2 学期		栗林 太			山内 明		
目的							
多様な学問領域を理解することと自分自身の将来の進路指針の選択について考え及ぶことが目的です。							
授業到達目標							
1. 科学的な理論を理解することができる。 2. 現象に内在する問題点を挙げ課題を発見することができる。 3. 問題点に対する解決の方法を提示することができる。 4. 自分自身の将来キャリアを考えることができる。 5. 様々な領域特有の知見を理解することができる。 6. 目の前に溢れる様々なデータを分類・解析することができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	9/ 2	月	4	講義	岡本秀	生化	血液腫瘍研究（卒後学外研修医へ。更に基礎研究へ）
2	9/ 6	金	1	講義	栗林	生化	医科学研究について
3	9/ 6	金	2	講義	伊藤達	衛生	がん研究
4	9/20	金	3	講義	杉本研	総合老年医学	老化研究や高齢者を対象とした臨床研究の話
5	10/10	木	3	講義	下田	糖内	糖尿病診療におけるトピック
6	10/16	水	5	講義	中村文	生理 2	漢方の最新知見
7	10/16	水	6	講義	中田昌	呼外	呼吸器外科のトピックス
8	10/31	木	3	講義	上村	循内	循環器内科のトピックス
9	11/ 6	水	3	講義	椎野	救急	救急・集中治療域における臨床研究
10	11/18	月	4	講義	山内明	生化	アントレプレナーシップと国際的研究
11	11/25	月	3	講義	犬伏	医学部	Seeing is believing ～機能画像の世界～
12	11/28	木	5	講義	三浦雅	法医	臨床検査の法医診断への応用－生体用の検査は死体試料に有効か？－
13	11/28	木	6	講義	花山	リハ	「リハビリテーション医学分野における研究」
14	12/ 6	金	6	講義	栗林	生化	生命保険文化センターご担当者様「生活設計とリスク管理」 (様々なデータによる将来予測を学ぶ)
15	12/10	火	1	講義	栗林	生化	これまでの振り返り、生涯続く自己評価（間接評価、形成的評価）、レポートのフィードバックとルーブリック評価
評価方法							
[期末試験]50%							
[レポート]50%							
[評価方法]多肢選択試験、論文・レポート							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
1. レポートは、教員の指示に従って作成すること。レポートに生成 AI を使用する場合は、「川崎医科大学の生成 AI 取扱い指針」に従い、使用した生成 AI の種類、引用箇所、prompt 内容を提示すること。 2. 生成 AI の内容には虚偽が含まれている可能性があるため、必ず自ら根拠や裏付けを確認すること。 3. 課したレポートは、原則、コメントをつけて返却する。							
教科書							
ISBN-指定はありません。							
参考書							
ISBN-指定はありません。							

準備学習（予習・復習等）

専門の先生方の講義の前後には、それぞれ 1 時間程度の予習と復習を行うこと。シラバスを参考に、専門職や科目の予習を行い、講義後には内容を振り返りながら復習を行うこと。

講義についての注意事項

専門分野の第一線でご活躍中の先生方をお願いいたしました。本科目はキャリアガイダンスの意味もあります。是非自分の将来へと想いを馳せながら受講してください。

物事の違いを見分ける力を先生方の講義を通して養ってください。

昨年度からの変更点・改善項目

一部の授業内容を変更しました。生理学 2 教室教授の中村丈洋先生に漢方に関して新たにお教えいただきます。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

第 2 学年の医学研究への扉に引き続き、研究マインド育成のための科目です。学生の方々ご自身のキャリアガイダンスとしてプロフェッショナルリズム育成にも資する科目です。

ナンバリング

DLDA317